



未来を夢見て

2020/4/21 No. 3

魂は細部に宿る、小さなことから始めよう！

～感染のリスクを避けて教科書配付をどう行うか～

非常事態宣言後も新型コロナウイルス感染症の猛威が止まりません。大和町教育委員会でも、県教委が県立学校に通知した「在宅勤務実施要領」を受けて、町内の各学校に対して職員の感染予防のために「在宅勤務」を今週から実施することになりました。

このため、20日（月）に予定していた、新1年生の保護者の皆様の来校にあたっては、極力保護者の皆様と職員との接触を避けるように配慮し、予定していた児童の荷物の受け取りはせず、教科書の配付のみを行わせていただきました。また21日（火）に予定していた児童の登校日は中止になり、21日から23日の3日間の予定で、保護者の皆様に教科書を受け取りに来ていただくことになりました。

写真は島貫先生と堀田先生に考えていただいた当日の保護者の皆様の動線です。既に雨天になることを見込んで、職員駐車場を解放し、いかに職員と保護者の皆様の接触が少なくなるかを課題に、写真のように職員玄関から外靴のまま入っていただき、ドライブスルーのように教科書を受け取って帰っていただくシステムを考案していただきました。対応する職員の少なさを分かりやすい「掲示」で補うきめ細やかな心配りには本当に感心させられました。

4月最初の校長会で上野教育長先生からお話された、「**心は細部に宿る**」の心構えと「**小さなことから始める勇氣、それを大河とする根氣**」の精神が早速本校の職員の姿で教えられたような気持ちになりました。20日、天気は予想通り生憎の雨でしたが、予定していた13時から15時半の間、車が混み合うこともなく、124名の保護者の皆様にスムーズに教科書の配付を行うことができました。

保護者の皆様の様子が知りたくて、駐車上で自家用車の誘導を行っていました。ほとんどの保護者の皆様と目が合い、目が合うと自家用車のガラス越しでも会釈され、温かい気持ちになりました。予定していた入学式が延期され、今後の見通しすら不確かな中でも、誰一人不満を漏らさず来校していただき、子どもたちのために教科書を受け取っていただいた小野小の保護者の皆様の様子には本当に頭が下がる思いです。

さて、最後は私的な話題です。私は趣味がジョギングの市民ランナーです。今年も5月10日の仙台ハーフマラソンに参加する予定でしたが、残念ながら大会が中止となりました。ちなみに写真は今年の記念Tシャツです。自宅から学校まで約17km。今は慣れない自家用車で緊張しながら通勤しておりますが、コロナ騒動が集束し、少し心に余裕ができたなら、一度自分の足で学校まで走ってみることが当面の目標です。

徳田先生、島貫先生、その時は一緒にお付き合い願います！

（文責：手代木）

